

福島県立安積高等学校 SS探究Ⅰ・Ⅱ 活動ポートフォリオ

1年組番	2年組番	3年組番	氏名

1年次の活動	5-d	5 福島空港・鉄道利用	郡山路線拡大化計画
ルーブリック中で自分が今年成長したと思うもの	A 思考のための知識		
どんな場面でその成長を感じることができたか	友達との会話の中で帰納法や演繹法について話した時		
「具体と抽象」	理解度	3 わずかにできた	活用度 3 わずかにできた
「対話型論証」	理解度	3 わずかにできた	活用度 3 わずかにできた
市役所の協力を得た地域共創探究による探究活動の中で、あなたが得たものは何でしょうか？	問題解決に向けて自分たちで解決策を考え、それをたくさんのデータや資料を元に相手に伝わるようにまとめる力		

	1年5月	1年7月	1年3月	2年7月	2年2月	3年7月	3年12月
A 思考のための知識		14	123				
B 論理的思考の操縦力		12	13				
C 表現力・発信力	12	123	12				
D 自己理解・自己調整力	12	123	12				
E 寛容性・柔軟性	1	134	1				
F 能動的市民性	1	1	1				

得点/満点			年間評価	
テスト	知識・技能/40	25	知識・技能 評価	B
	思考・判断・表現/32	17		
ポスター	論理の緻密さ/4	4	断 思考・表現 評価	B
	表現の美しさ/4	4		
活動	研究の質/5	5	習 主 心 体 姿 取 的 勢 取 的 に 組 学	A
	協力の姿勢/5	5		
ポートフォリオ	成長の意識/5	5	評 価	得点 70
	自己評価/5	5		評定 4

探究学習へのアドバイス(1年次2)

論理的思考や知識の整理に優れており、基礎力も安定しています。具体例を交えた表現の練習を重ね、より実践的な応用力を目指しましょう。

安積高校Ⅲ期ルーブリック

レベルの視点 (視点の意味)	1 具体 (意欲、主体性、初歩的なアクション)	2 抽象化 (能力獲得に向けた努力、ちがひ、ディンカリング、試行錯誤)	3 高次抽象化 (獲得したい力、コンテンプツ、コンビンテンシー、自分の殻を破る何か)	4 演繹・類推 (獲得したい力、コンテンプツ、コンビンテンシー、周囲の殻を破る何か)
A 思考のための知識	過去に学んだ知識や経験がないと、思考や判断ができないことを知っている。	過去に学んだ知識や経験から共通点を抜き出し、一般化・概念化することを抽象化または帰納というが、その具体的な事例を挙げることができる。	概念化・一般化した事柄を実生活（具体）に落とし込むことを、具体化あるいは演繹や類推というが、その具体的な事例を挙げることができる。	人間は、合理化は得意だが、必ずしも合理的ではないことを、具体例を挙げて説明できる。
B 論理的思考の操縦力	論理的に思考するための思考ツールを知ろうとしている。	論理思考のツールを知っている。	課題研究活動において、対話型論証をはじめとした思考ツールや方法を活用している。	目的に応じてツールを使うことができる。
C 表現力・発信力	わかりやすい説明がどういふものかわかる。	わかりやすい説明の特徴を踏まえて、事物や状況を説明できる。	事物や状況の本質を見抜き、それを一般化・抽象化した表現ができる。	状況や事物の背後に潜む事柄を、具体例を用いて、適切な言葉で表現できる。
D 自己理解・自己調整力	自分の気持ち・感情を言葉で表現することの必要性がわかる。	自分の気持ち・感情を言葉で表現しようとしている。	自分の気持ち・感情を言葉で表現することで、自己を客観視することができる。	メタ認知により、自己の行動などを調整することができる。
E 寛容性・柔軟性	さまざまな意見に耳を傾けることができる。	自分と異なる意見の三角ロジックを理解することができる。	自分と異なる意見に対して、論理的な反論ができる。	さまざまな意見をまとめ、最上位の目的を踏まえつつ、互いに納得できる最適解を見つけ出すことができる。
F 能動的市民性	学術的課題や社会的課題について知ろうとしている。	学術的課題や社会的課題の生じる理由や経緯・原因を探ろうとしている。	学術的課題や社会的課題の生じる理由や経緯・原因に基づいて、解決策を提案できる。	学術的課題や社会的課題に対して、関係者を巻き込み、解決に向けて取り組んだ。